

# あなたの絵を「扇子」にしよう

世界に1つだけの扇子を作ませんか



## 参加者募集

講座内容：「扇子用地紙に絵や図案を描く」

(加工は、京都の老舗扇子屋に依頼)

自分で絵や図案等を準備、サンプル画を模写してもよく、  
絵のジャンルや画材は自由。

(扇子地紙を事前に受け取り、自宅で絵付けの上、提出も可能。)

●日時： 5月16日(木) 午後5時半～8時

5月18日(土) 午前10時～午後4時

両日程のうち、1日のみの参加、両日参加、どちらでも構いません。

●定員：先着15名(中学生以上) ●会場：御殿山生涯学習美術センター 創作室3

●費用：材料&加工費 1800円/1本 (扇子骨「茶色」は+300円、地紙追加は+110円)

●講師：矢野正義氏

※【お願い】 絵筆や絵の具(顔彩・水彩・アクリル等)をお持ちの方はご持参ください。

申込：5月2日(木)午前10時から先着順(電話予約可)

主催：御殿山生涯学習美術センター 活動委員会

申し込み・問い合わせ：枚方市立御殿山生涯学習美術センター

TEL 050-7102-3135 FAX 072-847-8351

# 地紙に描くときの注意等について

(より良く見せるために)

加工前  
白紙の地紙に  
描いた状態

地紙は  
大・小 有り

加工

扇子屋さんで  
加工後の状態

加工後の波型により、  
絵柄が左右(扇形)に、  
縮まって見える

加工時に周辺(内外  
左右)がカットされる

加工時に内周縁が  
カットされた結果、  
狭くなっている

- ① 扇子に加工されると、絵柄は、扇形に左右が縮みます。  
加工時、地紙の内周縁・外周縁・左右縁がカットされます。  
⇒描くときは、扇形に沿って多少横長めに描く。  
⇒地紙より少し内側に描く  
※具体的な状態は、上図の加工前後を参照ください。
- ② 厚塗りすると「にじみ・汚れ」が生じやすくなります。  
⇒厚塗りは、加工時の折り曲げで割れやすく、滲みの原因になります。  
⇒厚塗り無しでも、加工時に「湿らせる」為、にじみ・汚れが出る場合もあります。

下書き用紙又は地紙が必要な方は窓口までお申し出ください

- ・ 下描きしておきたい方 → 下描き用紙 (A3大、扇形枠線入り:無料)
- ・ 講座までに描いておきたい方、自宅で作品をある程度仕上げておきたい方 → 地紙

※地紙1枚は材料・加工費:1800円に含まれています。別途必要な場合は1枚110円が必要です。